

マに4地区で開催

地区別行政懇談会

9月5日から9月10日にかけて、行政懇談会が各地区ごとに開催されました。今年度は、例年10月に開催していた行政懇談会を1ヶ月早め、市町村合併問題について町民のみなさんと意見交換を行う事を目的とし、5日に白浜地区（白浜小体育館）、6日に東陽地区（町民会館）、9日に南条地区（南条小体育館）、10日に日吉地区（日吉小体育館）で、それぞれ午後7時から開催したところ、4日間で301名という多くのみなさんの参加をいただきました。

はじめに、向後町長から市町村合併に対する基本的な考えや方向性についての説明があり、その後会場のみなさんから多くの質問や貴重な意見・提言をいただきました。懇談会での町長説明及びみなさんから出されました主な質問・意見については、次のとおりです。



合併問題に対する町の考え方を語る向後町長

合併問題に対する町の基本的な考え方、方向性等について(町長説明要旨)

市町村合併につきましては、合併特例法の期限が迫っていることもあり、近隣市町村でも合併に対する気運が急激に高まってきております。

東総地区においては、去る8月26日に旭市・海上町・飯岡町・干潟町の1市3町が合併重点支援地域の指定を受け、合併協議会の設置に向け動き出しています。

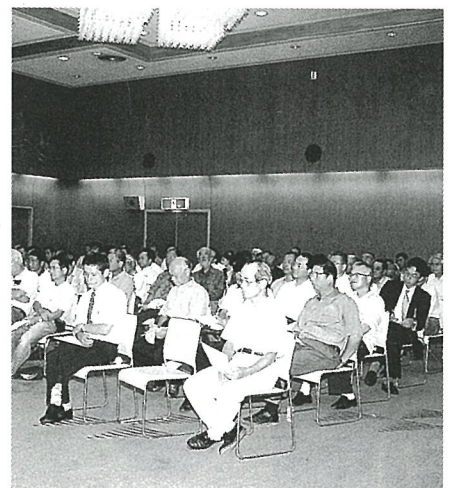
そのような中、当町でも昨年の地区別行政懇談会を始めとし、いろいろ

な会議などを通じ、町民のみなさんから合併に関する意見や要望を伺って参りました。その結果、町民のみなさんは、「西側を向いた合併」を望んでいると強く感じたとところであります。

そこで、町としても町民みなさんの意見を基本に議会のみなさんと協議をし、成田空港南側の町村と合併することによって、騒音対策など同じ条件の基で「まちづくり」が進められること、栗山川を同じ自治体の中に取り込むことによって、

架橋の新設や改修などがより有利に事業展開できるということが、光町にとってより良い合併になるものと考えたところであります。

合併特例法の期限を考慮しますと、この3〜4ヶ月が正念場となっていくことから、今年度はテーマを市町村合併問題にしばって、町の考え方を率直にお話し、ご理解をいただくとともに、今後の方針などについて、ご意見をお聞かせいただきました。とお願い、毎年10月に行っていた行政懇談会を前倒ししまして開催させていただきました。



合併に対する関心の高さを示す多数の参加者（町民会館）